

平成 28 事業年度の事業報告書
(平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 1 2 月 3 1 日まで)

特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会

1 事業の成果

- 巡回診療事業をチサンバ郡ルアノ地区で月 2 回、12 月に同地区サンダラ村で 1 回の計 25 回、ムワンタヤ地区で月 1 回、計 11 回（ヘルスポストが開業したので 11 月まで）、ニャンカンガ地区で月 1 回、計 14 回（3 月・6 月は患者数が多く 2 回）の合計 50 回継続実施した。
- 巡回診療スタッフの一人である準医師ムレタ氏の住むチボンゴ郡ルカタ地区では、抗マラリア薬、マラリア検査キット、解熱剤などを提供し、ムレタ氏がコミュニティヘルスワーカーとともに診療を実施した。同じくスタッフであるシバンダ氏の住むモンボシ地区でマラリアによる死者が 8 名と相次いだことから、管轄ヘルスセンターの許可をもらい、シバンダ氏とコミュニティヘルスワーカーがマラリア検査を実施し、抗マラリア薬を投与した。
- ニャンカンガ地区に患者ファイルを保管する倉庫兼診察室、会議室として機能できる建物が完成した。また、ルアノ地区に、各種測定・検査施設として、屋根の取り付け・床面の整備などをし、建物を完成させると共に患者の待合所としてのベランダが完成した。
- 11 名のコミュニティヘルスワーカー（ルアノ 4 名、ニャンカンガ 3 名、ルカタ 2 名、モンボシ 2 名）に対して、2 泊 3 日のリフレresher研修を 12 月に実施した。
- 6 月に、3 地区のコミュニティヘルスワーカー (CHW) やネイバーフッドヘルスコミッティのメンバーに対して、マラリア、下痢、妊婦健診、家族計画などの基礎知識、巡回診療時の注意事項に関するセミナーを開催し、CHW に対しては、彼らの日々の活動に対するフィードバックを行った。ルカタ地区では近隣のヘルスセンタースタッフが講師となり、同様のセミナーを開催した。また、11 月には、ルアノ・ニャンカンガ地区で、CHW やネイバーフッドヘルスコミッティのメンバーに対して、マラリア・下痢の予防、トイレ建設（環境衛生技術者が講義）などについて講義すると共に、ニャンカンガ地区では井戸掘削について、ルアノ地区では、マラリア蚊殺虫剤噴霧活動に関してそれぞれ協議した。
- 4~5 月、ルカタ地区を含む 4 地区で地域住民に対して、マラリア予防と下痢予防に関する保健衛生啓発活動を実施し、蚊帳を配布した。ルアノでは巡回診療実施場所からさらに奥に入ったサパニ村で実施。ニャンカンガ地区では連絡が十分でなく住民の集まりがあまりよくなかった。
- コミュニティヘルスワーカーやネイバーフッドヘルスコミッティ (NHC) のメンバーの活動を資金面でも支援するため、彼らの収入創出活動を実施した。なおルアノ地区では NHC 副委員長に問題があり、石けん販売は一時中止とした。
- ルアノ地区に 2 基、ニャンカンガ地区に 2 基の計 4 基井戸を建設した。ニャンカンガの 1 基は水質検査上透明度にやや問題があり、再検査の予定である。
- 環境衛生技術者の指導のもと、ルアノ・ニャンカンガ地区にモデルとなる清潔なトイレを建設中である（12 月末にはまだ完成していない）。
- 噴霧ポンプを郡保健局から借り、2 人の研修を受けた噴霧者がルアノ地区の 2 人に指導し、計 4 人の噴霧者により、6 月にルアノ地区サパニ、サンドラ村で 32 家族、54 戸にマラリア蚊殺虫剤噴霧を実施した。その効果が確認されたので、11 月にルアノ全村とその近辺の村合計 229 家族、406 戸で噴霧を実施した。
- 三重大、藤田保健衛生大学、大阪大学の医学生、医師が巡回診療活動を見学した。
- 広報活動として、活動内容を伝えるニュースをメールで、計 15 回送信すると共に適宜ホームページの更新を実施した。

- 宮崎公立大学、愛知学院大学、茨城県常陸大宮市、自治医科大学で活動を紹介する講演をそれぞれ行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款記載事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
巡回診療事業 ① 巡回診療	3 地区で巡回診療(合計 50 回)を実施した	(A) 毎月第 1~4 水曜日 (B) ルアノ・ムワンタヤ・ニャンカンガ地区 (C) 約 700 人	(D) 約 4000 人 (E) 5486 人
巡回診療事業 ② 患者ファイル保管等のための倉庫兼建物の建設等	屋根・ドア・窓を取り付け、建物を完成させた。また、ルアノでは患者の待合所が完成した。	(A) 4~12 月 (B) ニャンカンガ・ルアノ地区 (C) 約 40 人	(D) 約 4000 人 (E) 約 4000 人
保健衛生啓発事業 ① CHWのリフレシャ-研修	4 地区(ルカタ、モンボシ地区含む) 11 名に対しリフレシャ-研修(3 日間)を実施した	(A) 12 月 8~10 日 (B) チペンビ農業大学 (C) 約 6 人	(D) 約 6000 人 (E) 11 人
② CHWとNHCメンバーのセミナー	保健衛生に関する基礎的な知識の講義をそれぞれの地区で年 2 回実施した (ムワンタヤはヘルスポストが稼働し 1 回のみ、ルカタ 1 回のみ)	(A) 6 月 8、10、20、29 日、11 月 21、28 日 (B) ルアノ・ムワンタヤ・ニャンカンガ・ルカタ地区 (C) 23 人	(D) 約 6000 人 (E) 120 人
保健衛生啓発事業 ③ 地域住民啓発	4 地区の住民に対して、マラリア予防と下痢予防に関するドラマや歌を通しての啓発活動を計 4 回実施した	(A) 4 月 22 日、5 月 6、13、20 日 (B) ルアノ・ムワンタヤ・ニャンカンガ・ルカタ地区 (C) 約 50 人	(D) 約 6000 人 (E) 約 500 人
保健衛生啓発事業 ④ 収入創出活動	ノート販売(3 地区)石けん販売(ルアノ地区)を通しての CHW や NHC メンバーの収入創出活動を実施した	(A) 通年 (B) ルアノ地区・ムワンタヤ・ニャンカンガ地区 (C) 30 人	(D) 約 4000 人 (E) 約 30 人
保健衛生啓発事業 ⑤ 井戸建設	ルアノ・ニャンカンガ地区でそれぞれ 2 基の井戸を掘削した	(A) 11 月 (B) ルアノ、ニャンカンガ地区 (C) 30 人	(D) 約 3000 人
保健衛生啓発事業 ⑥ トイレ建設	地区の住民・巡回診療スタッフが使用できる清潔なトイレを建設中	(A) 10~12 月 (B) ルアノ、ニャンカンガ地区 (C) 30 人	(D) 約 3000 人
保健衛生啓発事業 ⑦ マラリア蚊殺虫剤噴霧活動	3 回に分け、計 5 日かけて全村 406 戸に殺虫剤を噴霧した	(A) 11 月 (B) ルアノ地区 (C) 約 30 人	(D) 約 2000 人 (E) 約 2000 人

(2) その他の事業 実施しなかった